

[慈愛園老人ホーム 事業報告]

28年度 施設運営総括

平成28年度、年度当初の4月に未曾有の熊本地震が発生し大変な事態に遭遇したがお一人も怪我、事故に見舞われず無事に乗り越えることが出来た。本年度も入居者の方々のニーズに的確に応え続けるため、機能の維持向上を図り、安穏な生活をしていただき、その人がその人らしく明るく生きがいのある生活を達成されるよう、援助・介護によって自立した日常生活・社会生活へ繋げる支援をするため、職員一丸となり精一杯努めた。

- 1 一人ひとりが安心して過ごせるように、それぞれの職種の持てる力を活かし、調整・連携・支援を行った。

職員の施設人事異動が一昨年8月に行われ事務長、相談員の交替があり1年半の経過の中で、現在、安定した事業展開が図られている。また、年末には調理員1名が退職したが、すぐに補充を行った。看護師が安全衛生・感染症対策を進めていき、支援員が入居者に寄り添い頼られる存在として、相談員は各職種間や外部関係の調整を行い、調理関係は毎日の食の楽しみを提供した。インフルエンザでの罹患も一人もなく、ノロウイルス等も出すことなく全職員が職種を問わず施設内の衛生保持と入居者への対応を一元的に行った。

- 2 入居者が安全に暮らせる施設環境の実現に向けて努めた。

要介護認定者が現在の入居者68名の6割以上の42名となり、施設内の環境によるケガなどでADLが低下しないことを求めた。ベッドやイスから立とうとした際の転倒・しりもちなど、体を動かす際に発生するため、環境だけでなく、体操等で入居者の筋力維持に向けて働きかけてきた。

環境の工夫と入居者各自の意識付の両面から安全な暮らしを求めつつ、ラウンジや出入り口での段差による転倒等の事故に繋がらないように、今後も配慮を重ねて行きたい。

- 3 経営の継続に努力した。

入居率が低下しないように努力したが、他施設に移動、長期入院で年間6名の退園者が出た。新たな入居者の補充に努力したが、早急な入居者獲得は難しかった。入居者は年間5名であり定員より3名減である。

入居者のADLや生活状況を捉えると現在、支援員の人員は国基準より3名多いが昨年3月に支援員1名退職後は補充せず、これ以上、減員はできない。

- 4 職員の意欲向上と技術力強化に向けた研修を行った。

法人内の研修以外に、熊本県老協主催、熊本県社協主催、熊本市老協主催等の研修に各職種職員を派遣した。職員全体には非常勤職員も含めて、災害時の対応ができるよう、「階段昇降器具の使い方」を専門家の「みどり安全」からの招聘研修を行った。8月には「熱中症について」の研修を行った。講師に大塚製薬を招き熱

中症の病型の特徴を理解した上での予防方法、救急処置方法を学んだ。11月には熊本看護専門学校教諭に「事例から捉えた認知症について」の研修を行った。認知症ケアに大切な能力、ケア技術の技法を認知症の基本構造、認知症の人との接し方を学ぶことで今後のケアに活かせる大切な留意点をご教示いただいた。

5 地域交流を増やし、老人ホームへの理解を求める。

防災訓練では病院の避難訓練や町内合同の消防署指導による総合防災訓練等に入居者が参加した、職員も地域の消防団員として、また自治会、交通指導員等として地域と連携を図っている。毎月の夕食のお誕生会配食サービスを行うことで地域の75歳以上のひとり暮らしの方々の安否確認・福祉相談等、民生委員のそれぞれの役割、連携も確認しながら行うことができた。

4月の熊本地震では老人ホームも福祉避難所として空き部屋の提供を行い、中には高齢者だけでなく乳幼児を抱えた被災者の方や親子で家が崩壊されて行き場に困られた方の受け入れ先としての機能を果たせた。

[慈愛園ケアハウス 事業報告]

1 ケアハウスとして、その方の状態に合わせた生きがいや「夢」を持ってもらえる施設づくり皆様がいつまでも元気で自分らしい生活のリズムを継続できるよう「介護予防」、「介護保険」とご本人たちの“いつまでも元気で暮らしたい”との気持ちの実現が図れるように一人ひとりのニーズに合わせた支援を行うように全員が心掛けて取り組んだ。特に今年度は個別の希望に沿った動きをすることを目標とした。個々の希望を叶えるためには、限られた職員数と多くの業務の中で時間を作り出す努力も必要となり、より効率的な動きをするための努力をした。その結果、入居者への個別対応を実施する時間を生み出すことができ、計画的に一緒に買い物に行ったりする行事も取り入れることができた。本年度は更にご本人の希望に即した外出の機会が実施できた。

また、8名の方が1年間の中で退園を余儀なくされたが、特別養護老人ホームを含め、それぞれが、ご本人が望まれる次のステージへと移ることができた。

2 介護予防や認知症ケアの充実を図り、職員の専門性を高める。

認知症について非常勤職員も含め、職場研修会にて、どの職員も一定のレベルで取り組めるように養護老人ホーム職員と共に研鑽に努めた。内部研修では職員間の情報の共有を行うとともに外部研修の参加も積極的に行い、介護技術や医療的な知識の学びを深め、今後の重度化していく現状に対応すべく職員の知識・技術の向上に努めた。

3 入居者にとっての一番の楽しみである食事の質の向上

厨房が直営であること、食材の仕入れを極力、町内及び地元の業者で行い、冷凍食品を減らしていることで入居者の評判もよい。ただ、昼食の食数が入居者の外出が多く、少ないことから今後、食材の発注の関係から「食の楽しみ」の部分をもっと強化しつつ

今後の給食について検討を加えていきたい。

4 地域の中の資源の一つとしての地域への周知と交流、ボランティア等の受け入れを積極的に行い。開かれた施設をめざした。

毎年、ボランティアの積極的受け入れを行っている。昨年から引き続きの「話し相手」や「レクレーション」等、入居者との交流を図っている。

5 ケアハウス改築を行いアメニティーの向上が実現

ケアハウス4階の浴室を平成27年5月～8月4ヶ月にかけて1階に男性浴室、女性浴室をそれぞれ設け、4階に新たに3部屋の個室設けた。1階の浴室は入居者全員にとって、とても好評でより快適さの実現となった。また、個室も32室の一人部屋が確保でき二人部屋6部屋中、2組あれば万床の40名入居が可能となった。

[訪問介護事業所 事業報告]

事業開始より9年が経過し、養護老人ホームの支援員が介護サービスを必要となった利用者にとって顔馴染みの訪問介護員として関わることで日頃の利用者個々の生活のリズムを踏まえた、真に必要な介護サービスを提供するスタイルが今年度も有効に機能した。

これまでと同様に質の高い訪問介護を策定し、これをもとに訪問介護員自らが高い専門性と接遇マナーをもってサービスを提供するために内部研鑽を積む一方、外部の介護職員研修にも積極的に参加した。

今年度も、常に利用者本位の介護サービスを提供することにより、介護が必要となった利用者の日常生活に安定をもたらすとともに、それぞれの身体状況に応じた自立促進のための支援が出来た。

昨年度と比較して介護サービス提供において実利用人員が年間、延8名減少したものの延べ利用人員としては同数であった。介護サービス提供の回数も年間、延、60回ほど減少したとは言え通所介護、通所リハも今後益々、ニーズが高まる傾向にある。

—事業指針実践報告—

- (1) 利用者の意思を尊重した利用者本位の介護サービスを提供した。
- (2) 的確なアセスメントで質の高い介護計画を策定、実施した。
- (3) 定期的な訪問介護計画の見直しを行った。
- (4) 家族との連携を密にし、利用者に関する情報把握に努めた。
- (5) 訪問介護員の積極的研修参加を図り、自己研鑽による専門性の向上に努めた。
- (6) 介護予防訪問介護サービスに即応できる体制に努めた。
- (7) 訪問介護事業所対応ソフト導入による管理業務の効率化を図り合理的かつ円滑なサービス管理に努めた。
- (8) 職員の研修・教育を実施した。

事業所内研修（ヘルパー研修）の充実

「介護サービスの情報公表」に基づいた事業所内研修のあり方を検討し、養護老人ホーム、ケアハウスの職場研修において共通課題として資質向上に努めた。

<年間行事活動等>

開催	名 称	実 施	実 施 状 況
4月	互助会総会・演芸会	共通	入居者互助会の総会と合同の演芸会
5月	「子供の日」お祝い ダンベル体操 湖東中、応援団演舞 動・植物園見学	共通 老人 共通 共通	子供ホーム、ライトハウスへ互助会よりお祝い 外部講師によるダンベルにぎにぎ体操の訪問 本年は地震の影響で止む無く中止になる。 動物園、植物園閉園のため、中止。
6月	神水幼稚園花の日訪問 和菓子ショップ	共通 共通	「花の日」にちなみ園児がお花のプレゼント 熊本市川尻の伝統和菓子職人さんの実演。
7月	七夕飾り 植木温泉日帰り旅行 神水教会合同慰霊祭	共通 老人 共通	七夕に合わせて短冊を作り各ホームに立てる 31名参加のもとに「旅館平山」にて舌鼓を打つ。 過去1年間に亡くなられた方々の慰霊式
8月	夏祭り	共通	老人ホーム食堂において午後のひととき涼む
9月	敬老お祝い夕食会 敬老お祝い会18日 32回「遊友小子老デー」運動会	共通 共通 共通	「敬老の日」にちなみ行事食にてお祝いする 午後のひとときに敬老お祝い会行う。 秋の恒例の慈愛園の子どもからお年寄りまで一 緒の運動会
10月	ケアハウスビヤガーデン	ケア	4階の食堂、ハローウィン仮装茶話会とビヤガーデン
11月	「感謝祭」園児訪問 外食レクレーション 秋の味覚市サンマ炭火焼き クリスマス点灯式	共通 共通 共通 共通	神水幼稚園園児による感謝祭・収穫祭の訪問 外食メニューで楽しむ 園庭でサンマの炭火焼をして食堂でいただく。 子どもホームグラウンドにての一斉点灯式
12月	ホームクリスマス クリスマスキャロリング おもちつき	共通 共通 共通	聖歌隊賛美歌と牧師のお話でお祝いする イブの夜に神水教会より聖歌隊が歌の訪問する 入居者と職員でお正月の準備でもちつき行う
1月	年始挨拶・福引大会 新年ゲーム大会	共通 共通	新春の挨拶と福引大会で新年の福を分かち合う 新春恒例のカルタ会やすごろく大会等を実施
2月	節分豆まき 植木市見物	共通 共通	老人ホーム食堂にて豆をまき厄払いをする 恒例の農業公園の植木市を見物する
3月	ひなまつり	共通	食堂やロビーにひな壇飾り行事食を楽しむ

<趣味・娯楽活動>

サークル名等	実施	回数	実施状況
誕生会	共通	毎月	14時半に当月の誕生者に記念品を渡しお祝いする。
お花	養護	月1回	池の坊流師範、日吉智愛先生のご指導で生け花習う。
ひまわりクラブ	養護	週1回	カレンダー作成や、クリスマスの時期にはモール等も作る。
一日喫茶	養護	月1回	いずみ2階ラウンジで簡単なメニューで喫茶を楽しむ。
朝の集い	共通	毎水曜	朝のひとときに神水教会牧師の説話に傾聴する。
映学会	養護	月1回	日曜日の午後のひととき、時代劇や邦画等を楽しむ。
生き生きクラブ	ケア	月1回	職員指導にて高齢者向けのストレッチ体操を行う。
健康体操	ケア	月1回	ボランティアの指導にて手遊び等の簡単な運動する。
玄米にぎにぎ体操	老人	月1回	ボランティアの指導にて食堂にて身体を動かす。
絵手紙	ケア	月2回	千代紙や和紙を活用し水彩画等で絵手紙作成する。
菓子販売	共通	月2回	町のお菓子屋さんの訪問販売で買い物を楽しむ。
衣類販売	共通	年2回	洋装店より衣類の展示即売を行い、お洒落を楽しむ。

<ボランティア・寄贈品等の受け入れ>

グループ名等	対象	実施	活動状況
シークレットミラーズ	共通	偶数月	隔月で休業日に来訪し、入居者のカットを無償で提供。
松尾グループ	ケア	月1回	女性グループで月1回の清掃奉仕。男性は年2回、奉仕。
九州動物学院	共通	月1回	数種のおとなしい愛犬を連れてきて動物とふれあう。
ダスキン熊本	共通	12月	年末に日頃、手の届かない箇所を清掃奉仕いただく。
日本たばこ(株)	共通	9月	「敬老の日」愛煙家にたばこのプレゼント。 5
大同青果	養護	12月	新鮮な旬の野菜を市場から沢山、届けてくださる。

[研修会参加状況]

研修会名	開催日	参加職種	研修会名	開催日	参加職種
介護認定審査会	4月6日	施設長	事務実務研修	11月4日	事務員
毎日フォーラム	4月13日	施設長	ホームヘルパー研修	11月20日	サ責
養護連絡協議会	4月20日	相談員	リスクマネジメント研修	11月29、30日	サ責
市社連総会	5月19日	施設長	カウンセリング研修	11月14、15日	支援員
軽費ケア研修	5月26日	相談員	社会福祉士指導者講習会	10月29、30日	支援員
慈愛園新任職員研修会	5月19日	調理員	モチベーション研修	11月8、9日	支援員
老施協総会研修	5月23日	事務長	養護職員研修	11月8日	相談支援員
不在者投票研修	6月9日	相談員	モチベーション研修	11月17日	調理員
全国軽費九州ブロック	6月17日	施設長	ルーテル中堅研修	11月17日	相談員他
福祉レクリエーション研修	6月24日	77相談員	法人会計実務研修	12月1日	事務長
市老協総会	7月7日	施設長	退職共済事務説明会	12月13日	事務員
老施協会議	7月5日	施設長	職場のリーダー研修	11月13、14日	相談員
養護施設長会議	7月25日	施設長	養護連絡協議会	12月20日	施設長他
市老協職員研修会	8月17日	サ責、相談員	相談面接技術研修	1月17、18日	支援員
九社連宮崎大会	8月22日	主任相談員	主任ヘルパー研修	1月18日	サ責
スーパーバイザー研修	9月6、7日	主任支援員	OJT研修	2月7日、8日	相談員
県介護連研究大会	10月8日	相談員	ヘルパー研修	2月18日	サ責任者
福祉職員救急法研修会	10月6日	支援員	県研究大会テルサ	1月21日	施設長
カウンセリング研修	10月17、18日	支援員	スーパーバイザー研修	2月14、15日	支援員
ケア生活相談員研修	10月25日	相談員	カラーコーディネーター研修	1月26日	支援員
会計実務研修会	3月1日	事務員	県老施協総会	3月9日	施設長
市老施協総会テルサ	3月2日	施設長	市老施協職員研修会	3月13日	事務、支援員
訪問介護研修会	3月4日	支援員	労務研修会	3月14日	事務長

一般物品および固定資産物品の取得]

* 消耗器具備品・器具什器

施 設	施設整備・修繕内容	金 額	備 考
老人ホーム	エアコン	81,000円	いずみ512号室
〃	車椅子	70,000	ハローデイより寄贈
〃	フードプロセッサー	82,000	厨房
〃	パソコン	97,200	事務所
ケアハウス	エアコン	99,360	111号室
〃	エアコン	99,360	205号室
〃	ハイブリッドファン	89,100	4階食堂
〃	エアコン	99,360	101号室
〃	エアコン	99,360	301号室
	合 計	816,740円	

* 固定資産物品の取得

施 設	固定資産物品名	金 額	備 考
老人ホーム	イーバックチェア	167,400円	非常時階段昇降器具
〃	ヒムプレーヤー（讚美歌）	125,800	食堂
	合 計	293,200円	

◆訪問介護事業所 年間実績

(1) 介護サービス提供の内容

区分・月	実利用人員	介助起床	介助就寝	食事朝食	食事昼食	食事夕食	入浴週3・60分	入浴週3・30分	延利用人員
4月	9	2	2	2	2	2	7	1	18
5	9	2	2	2	2	2	7	1	18
6	11	2	2	2	2	2	8	2	20
7	11	2	2	2	2	2	8	2	20
8	9	2	2	2	2	2	6	2	18
9	10	1	1	2	2	2	7	2	17
10	11	2	2	2	2	2	8	2	20
11	10	2	2	2	2	2	8	1	19
12	10	2	2	2	2	2	8	1	19
1	10	2	2	2	2	2	8	1	19
2	11	2	2	3	3	3	8	2	23
3	10	2	2	2	2	2	8	0	18
延計	121	23	23	25	25	25	91	17	229

(2) 介護サービスの提供の回数

区分・月	ヘルパー実人員	介助起床	介助就寝	食事朝食	食事昼食	食事夕食	入浴週3・60分	入浴週3・30分	提供回数	単位数合計
4月	9	60	60	60	60	60	77	11	388	105504
5	9	62	62	62	62	62	91	13	414	113372
6	11	60	60	60	60	60	103	26	429	117893
7	11	62	62	62	62	62	101	25	436	119514
8	9	62	62	62	62	62	82	17	409	128073
9	10	30	30	60	60	60	85	26	351	95051
10	11	62	62	62	62	62	104	23	437	120119
11	10	60	60	60	60	60	104	13	417	115369
12	10	62	62	62	62	62	108	14	432	119526
1	10	45	44	60	61	62	95	12	379	102711
2	11	42	43	53	53	52	90	9	342	94692
3	10	62	62	62	62	62	104	0	414	115036
延計		669	669	725	726	726	1144	189	4848	1346860

(3) 介護度別利用状況

平成29年3月現在

区分 要介護度	利用 実人員	介助 起床	介助 就寝	食事 朝食	食事 昼食	食事 夕食	入浴週 3・60分	入浴週 3・30分	延利 用数	通所 介護リハ
5	0								0	
4	4	2	2	2	2	2	2		12	2
3	0								0	2
2	2						2		2	4
1	4						4		4	4
支援2	0								0	2
支援1	0								0	1
延計	10	2	2	2	2	2	8		18	15

◆老人ホーム

(1) 年齢別・性別の状況

平成29年3月31日現在

年齢・性別	60~64	65~69	70~74	75~79	80~84	85~89	90~94	95~99	100~	合計	平均
男		2	4	8	4	1				19	76.5
女		4	1	7	13	7	10	6		48	84.6
計		6	5	15	17	8	10	6		67	82.3

(2) 在籍期間の状況

平成29年3月31日現在

期間・性別	1年未満	1~3年	3~5年	5~10年	10~15	15~20	20~25	25~30	30以上	合計	平均
男	2	8	1	5	2	1				19	4年8
女	3	10	14	11	4	3	2		1	48	7年0
計	11	17	17	12	5	5			1	67	6年3

(3) 要介護度の状況

平成29年3月31日現在

自立	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
25	10	9	9	7	2	5		67

◆ケアハウス

(1) 年齢別・性別の状況

年齢・性別	60~64	65~69	70~74	75~79	80~84	85~89	90~94	95~99	100~	合計	平均
男			1	1	2	2				6	81.5
女		1	1	3	8	9	8	1		31	87.9
計		1	2	4	10	11	8	1		37	86.8

(2) 在籍期間の状況

期間・性別	1年未満	1~3年	3~5年	5~10年	10~15	15~20	20~25	25~30	30以上	合計	平均
男	1	2	1	1		1				6	5年9
女	2	7	9	10	3					31	5年1
計	3	9	10	11	3	1				37	5年3

(3) 要介護度の状況

自立	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
19	3	6	9					37

(4) 入院者数について H28.4.1~29.3.31 老人ホーム

内科	外科	呼吸器科	循環器科	精神科	その他
32	17	2		3	3

ケアハウス

内科	外科	呼吸器科	循環器科	精神科	その他
16	4	1			1

(5) 税額等の階層区分 老人ホーム

生保被保護	非課税世帯	課税均等割	課税所得割	所得課税世帯	合計
10	54				67

ケアハウス

生保被保護	非課税世帯	課税均等割	課税所得割	所得税世帯	合計
0	28	7		2	37

(6) 入居者の入居前の居場所 老人ホーム

自宅	子供・親族	病院	精神科 HP	ケアハウス	有料ホーム	サ高住	救護施設	合計
27	19	9	6	1			5	67

ケアハウス

自宅	子供・親族	病院	養護老人	ケアハウス	有料ホーム	サ高住	その他	合計
29	5		1	1			1	37

(7) 退所者について H28.4.1~29.3.31 老人ホーム

在宅復帰	他施設	老健施設	一般医療	精神入院	施設死亡	入院先死亡	合計
	5		1				6

ケアハウス

在宅復帰	老人施設	老健施設	一般医療	精神入院	施設死亡	入院先死亡	合計
	3	1	3			1	8